

長年使用されたクルマは点検・整備を確実に!

安全のためには年式や走行距離に応じた点検・整備が重要です。

クルマは多くの部品から構成されており、使用されている間に各部が摩耗したり、劣化することが避けられません。そのまま使い続けると性能が低下したり、故障の原因となりますので、車両を安全・快適に使用するために、1年定期点検はもちろん、年式や走行距離に応じた点検・整備「長期使用車両向け点検・整備項目」を実施して、しっかりチェックしてもらいましょう。

「長期使用車両の点検・整備」については、整備工場へお問い合わせ下さい!



長期使用車両 故障・不具合例

スパークプラグ(白金・イリジウム)

点火不良によりエンジン不調、燃費悪化
電極の消耗等により点火ミスが発生し、
燃焼不良状態になります。



タイミングベルト

エンジン停止・損傷

交換時期を超えて使用を続けると、ベルトが切れて
エンジンが止まってしまう可能性があり、最悪の
場合、エンジン内部に重度の損傷を引き起こします。



ラジエータキャップ

オーバーヒート

ラジエータキャップが損傷すると、通常100℃超に
保たれているエンジン冷却水の沸点が下がり、沸騰して
溢れ出すことでオーバーヒートする可能性があります。



エンジンマウントラバー&ブラケット

エンジンルームからガタガタ音と振動が発生
ゴム部品等の劣化により亀裂や損傷が発生し
ショックを吸収できず、異音や振動につな
がる恐れがあります。



ドライブシャフトのジョイント部&ベアリング

走行時にガタガタ音と振動が発生

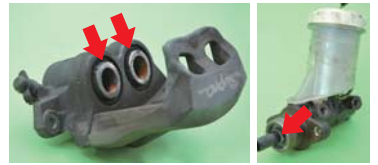
ドライブシャフトのベアリングやジョイント
部分が摩耗することによりガタが発生し、
走行中に異音や振動が発生します。



ブレーキのゴム部品(インナーキット)

ブレーキの効きが悪くなる

各種ゴム部品が劣化すると、ブレーキオイル
漏れが発生し、制動力(停車させる力)が
低下する可能性があります。



サスペンション

段差で車が跳ねる

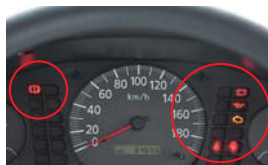
ショックアブソーバー及びスプリングがへた
ると、段差で車が跳ねやすい、揺れが収まり
にくい等、乗り心地が悪くなります。



インジケータランプ

車の不調に気付かず重症に

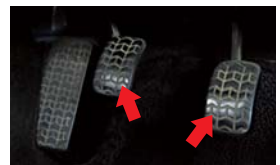
警告灯のランプが切れていると、車の不調や
トラブルの情報がドライバーに伝わらず、
重度の故障に繋がる恐れがあります。



各種ペダルパッド

ペダルを踏む際に滑りやすくなる

ブレーキ、アクセル、クラッチ等のペダル
パッドが摩耗すると、滑りやすくなります。



こんな症状に
注意して下さい!

サスペンションのジョイント部は長期間の使用により摩耗・劣化が進み、
最悪の場合、走行中に突然ジョイント部が外れる恐れがあります。
ハンドルを切った時に「重い」「異音がある」「戻りが悪い」等の異常を感じた
時は、すぐに点検・整備を受けて下さい。



定期的な点検整備でクルマの健康管理を!

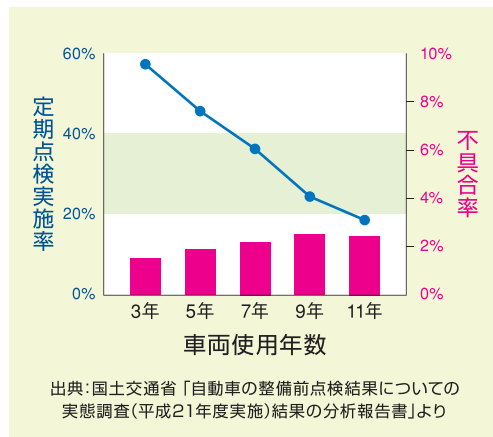
自家用
乗用車

1年定期点検の必要性

点検整備を実施することによりクルマの性能が維持され、安全・快適にご使用いただくことができます。

右のグラフのとおり、クルマの使用年数が増えると不具合率(整備を必要とする割合)が増加しているにも係らず、定期点検の実施率は大幅な低下傾向にあります。

クルマの性能を維持し安全・快適にご使用いただくためにも、必ず1年定期点検を実施しましょう。



点検整備を怠ると発生する故障例

ベルト

劣化したまま使用すると、ベルトが切れて、オーバーヒートしたり、ハンドルが重くなって事故につながる恐れがあります。



劣化により亀裂が入ったベルト

エンジンオイル

長期間交換しないで使用すると、エンジンオイルが劣化し、エンジンの調子が悪くなったり、内部の破損につながる恐れがあります。



正常(きれい)

劣化(汚い)

タイヤ

摩耗したタイヤで走行すると、ブレーキの効きが悪くなったり、雨天走行時に滑りやすくなったりして危険です。また、傷、ひび割れ、異物の刺さったタイヤで走行すると、突然破裂する恐れがあります。



摩耗したタイヤ

破裂したタイヤ

冷却水

長期間交換しないで使用すると、冷却水が劣化し、ラジエータの腐食やオーバーヒートにつながる恐れがあります。



オーバーヒート

バッテリー

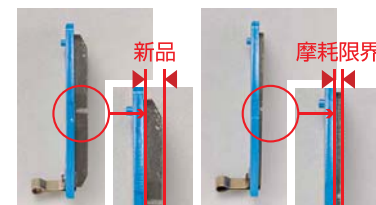
液量が少ない状態で使用すると、バッテリーが上がったり、破裂する恐れがあります。



破裂したバッテリー

ブレーキパッド

ブレーキパッドは、ブレーキをかけるたびに摩耗します。摩耗の限度を超えた状態で走行すると、ブレーキの効きが悪くなり、事故につながる恐れがあります。



新品

摩耗限界

走行中に故障を発生させないためにも、適切な点検整備を実施しましょう!